



# カウンセラーだより

たじま絆保育園 2019. 3月号

保護者の皆さん、こんにちは！今年度も、もう終わりですね。親子ともに新しい環境に向け、不安と期待が入り混じっている、そんな頃でしょうか!?今年度も皆さんと共に悩みながら共に子どものために検討できた事、大変うれしく思います。また来年度も懲りずに宜しくお願い致しますね。

さて今月のお便りは、愛着モデルの第3弾、愛着における葛藤型と無秩序無方向型についてお知らせ致します。



## タイプ3 (葛藤型) タイプ4 (無秩序無方向型)

### 葛藤型の子どもとその親

葛藤型の子どもは、“後ろ向きになりながら座ったままおしり移動で親の方へ近づいていく”あるいは“親を叩きながらも抱っこをせがむ”そんな状態です。要は、「憎いけど愛して欲しい！」そんな心理です。大人でも子どもでもたまにそんな方(時)を見かけますが、要は素直に甘えを表現できない、なぜなら恥の意識やプライドがあるから、あるいは上に立ちたいけどそれでは何だか怒られそう、と常に良心と罪悪感が葛藤しているタイプです。常に葛藤するタイプの子ども、あるいは大人でもその起源は同じですが、このタイプになりやすい親子(母子)の関係としては、親が同じく葛藤を抱きやすい場合や、親(母)の気分によって子どもに対する態度が真逆である場合、あとは感情の波が激しい場合など、親(母)による両極端な感情や気分が子どもの混乱を惹き起こし、親子(母子)ともに葛藤の渦に巻き込まれていくタイプです。

### 無秩序無方向型の子どもとその親

無秩序無方向型の子どもと親は葛藤型の親子(母子)よりまた一段と少ない割合である、とされていますが、このタイプは親が精神疾患を抱えているケースが多く、要は“どう出てくるか分からない”混沌とした関係になりがちです。つまり、親から子どもへの関わりが点でバラバラで、感情も行動も一貫性に欠けていますので、子どももいきなり泣いたかと思いきや、すぐにケロッとして、でもまた外的な理由もなく、いきなり怒り始める事もあり、いまいよく分からない子、つかみどころのない子として周囲からは映ります。

## 4月のお知らせ

- ・ 3日・10日・17日の水曜8時～18時(内9時間)に出勤予定です。



4月号は新しく入園された方や在園されている方へ改めて「ご挨拶と自己紹介、保育カウンセラー事業」についてお知らせ致します！ぜひ、ご覧ください！